

理学 GCP UPLB コース受講者の声

Batch15(2023年度)

「On my way to acquire English」

惑星学科 2年 Y. H.

僕は3週間のUPLBプログラムを経て、フィリピンという国、食べ物そして人々が大好きになりました。そして同時にたくさん濃密な体験ができ、一生ものの思い出になりました。フィリピンでの生活がこれからの人生の契機になり、大いに活かされることを僕は確信しています。

この3週間での大きな成長の1つは積極的に行動できるようになったことです。UPLBの授業では先生からたくさん質問が飛んできます。また、みんなの前で英語で寸劇をしたり、発表やプレゼンテーションをしたりします。僕自身、日本では手を挙げて発表するタイプの人ではなかったし、人の視線を気にしてそういったことを拒んできました。ですが自己表現をするチャンスがそこら中に転がっていて、むしろ自己表現しなくてはならない状況におかれることで、必然的に積極的に発言するようになりました。先生からの質問やリクエストにも率先して手を挙げ、英語で自分の意見や自分自身のことを表現できるようになりました。授業が進むにつれて、自己表現を楽しむことができるようになり、ユーモアを含んだことも言えるようになりました。

次に3週間のフィリピン留学を経て、フィリピンのここが好き!となったポイントを書きたいと思います。

まず、食べ物がめちゃくちゃ美味しい上に安いです。特にマンゴーは日本円でだいたい150円くらいで買えて、ホテルに帰ってかぶりついていました笑。多分、この世の果物で一番美味しいです。あまりの美味しさに僕の周りの友達みんな食べていたので、ファシリテーターに笑われていました。他にも、ウバやアドボ、ルンピア、レッドホース(お酒)など美味しい食べ物をたくさん食べることができました。食事で出てきた食べ物で気に入ったものは、どこで買えるか聞いたりしていました。また、UPLB周辺の美味しいカフェやレストランはファシリテーターやスチューデントガーディアンに聞いて行ったり、彼らが連れて行ったりしてくれました。

次に紹介するフィリピンのいい所はフィリピン人の人柄です。みんなとにかく明るい。特に、ファシリテーターは初めて会った時から自分たちと仲良くなるように距離をぐっと縮めてくれました。たくさん質問をしてくれるし、リアクションもとても大きくこちらも楽しい気持ちになります。ほとんど喋ったことがなくて目が合ったら「YUUKI〜〜!!!」と笑顔で手を振ってくれます。自分は普段から気まずくなるのを恐れ、人との対話に消極的でした。しかし、3週間たくさん彼らとお話して、こういったパーソナリティを見習おうと思いました。本当に楽しい会話ができよかったです。

最後に、フィリピンでの英語について書きたいと思います。授業やGI、それからネブラスカ大学の学生さんとの交流を経て、色々なスラングやイディオムを知ることができました。ですが、英会話そのものに関して3週間という短い期間ではあまり成長を実感できなかったです。英語でのコミュニケーションの難しさをひしひしと実感しました。特にリスニングに関しては色々と考えさせられました。英語のリスニングでは、日本でのコミュニケーションに比べてより一層集中して聞かないと聞き逃したり、意味が分からなくなってしまったりします。ナイトセッションの時に、UPLBの教授と日本人の友達と2時間ぶっ通して話す機会がありました。もちろん楽しい2時間になったのですが、2時間ずっと半端なく集中していたので終わった後、くたくたになっていました。英会話をより楽しむにはリラックスしながら、スピーキングとリスニングができなければならないと思いました。もう一つリスニングに関する困難がありました。それは相手の言っていることが聞き取れなかった時の対応です。僕たちは授業の後に現地のファシリテーターと英語で会話する機会がたくさんありました。そこでの英語は家でくつろぎながらヘッドホンをつけて、YouTubeで聴く英語とは全く別物でした。スピードも速く、なまりもあり、センテンスではなく単語でしか聞き取れないことが多々ありました。単語で聞き取っている、意味が分からなくなったり、勝手に頭の中で都合のいいセンテンスに作り替えたりしてしまったり笑。僕は相手の言うことが分からないとき、相手に聞き返すのをためらっていました。会話の流れを止めて気まずくなるのが怖かったからです。ですが、そんな考えを変える出来事がありました。友達とジョリーバーに行った時、店員が「WHAT DRINK WOULD YOU LIKE TO ORDER?」と僕に聞いたのですが、早すぎて聞き取れなくて聞き返すこともなく、思わず自分の名前を言ってしまいました。店員も困惑して、気まずい空気が流れました。(ファシリテーターの人にこのエピソードを話したらめっちゃ笑ってました)この経験を通して自分の悪い所がしっかり出てきたと思います。このことから、分からない時はしっかり聞き返そうと思いました。この失敗のおかげで多分これから「WHAT WOULD YOU LIKE TO ORDER?」を聞き間違えることはないでしょう。英語は実際の会話で上手いったり、失敗したりしない

と伸びないと実感しました。知識だけをインプットしていても実際の会話で使えないということです。

最後のもう1つ思ったのが、簡単な英会話例えば趣味や予定を話したり聞いたりではできるのですが、友達同士のコアで面白い会話になると英語が出てこないということです。自分の英語力がどのくらいかを知れて、もっと英語力をつけようと思ういい機会になったのでよかったです。今は海外の友達をたくさん作りたいし、それができるくらいの英語力をつけたいと思っています。英語へのモチベーションがとても上がっています。

3か月の間、サポートしていただいた金丸先生、茶谷先生、林先生はじめ農学部理学部の先生、スタッフのみなさん、UPLBの先生、スタッフのみなさん、フィリピンの美味しい食事を提供していただいたサラダカントリーのみなさんに感謝を伝えたいです。ありがとうございます。そして、UPLBのファシリテーターとスチューデントガーディアンのみなさん!ありがとうございます!大好きです!

Batch15,16という最高のメンバーで3週間を過ごせて幸せでした。ありがとうございます!そして、フィリピンに行かせてくれた両親に感謝です。



第2回事前学修会でフィリピンについてグループプレゼン(1月26日)



到着翌日午前のオリエンテーション(2月25日)

Batch16(2023年度)

「Life is beautiful!!!」

化学科 1年 K. F.

フィリピンでの3週間の経験は私の人生においてとても大きなものとなりました。全ての経験が新鮮で楽しくて、一番の思い出は何?と聞かれても全てが印象的で一つを取り上げることができないほどです。一緒にフィリピンに行った神戸大学の学生とは日本に帰っても遊びに行きますし、フィリピンの方々とはLINEやInstagramで今も連絡を取り合っています。このような人々と出会えたこともこのプログラムに参加してよかったと思える理由の一つです。このプログラムに参加する学生の殆どは農学部の学生で、理学部から参加した私はアウェイな感覚を覚えざるを得ませんでした。特に私は一人で申し込んだのでうまくやっっていけるか不安でした。しかし上に書いたように私の周りには素敵な人々が溢れていてそのような不安はすべて杞憂に終わりました。もしこのプログラムに参加してうまくやっっていけるかを不安視している人がいるのなら、そのような心配はしないで思い切って参加してみると良いと思います。

このプログラムに参加する前、私は人前に出ることや自分の意見を言うことが苦手でした。私が参加した理由は、英語学習はもちろんですがこれらの苦手なことを改善したいという思いがあったためでした。実際にフィリピンに行き、これらのことが改善されたのかについて話したいと思います。まず自分の意見を言うことについてです。これについては大幅に改善されたので

はないかと考えています。UPLB の授業では自分の意見をしっかりと持ち発言することが重要となります。重要というよりも、それをしなければ授業にならないというところがありました。否が応でも自分の意見を言うことができるようになるし、私にとってはとてもいい経験であったと思います。次に人前に出ることについてです。授業中前に出て発表することが多く、また発表はすべて英語で行われます。英語を使って人前で話すことができるならば、日本語での発表は何も難しいことはないからこの苦手は改善されるだろうと思っていました。しかしいざ日本に帰って人前に出ると、留学前と同じように緊張して何も考えられなくなってしまいました。フィリピンで発表がうまくできていたのはフィリピン特有の空気感も味方していたのだということが分かりました。フィリピンの人々の空気感是人見知り改善するととてもいい環境ではありますが、改善するには三週間では少し短いと感じました。しかしフィリピンでの経験はどれも忘れられない楽しいものばかりで、留学に少しでも興味があるのならばこのプログラムを全力でおすすめしたいです。



Batch15, Sir DELL の講義 (2月29日)

フィリピンで経験したことの中からいくつかをピックアップして紹介したいと思います。まずは TRESTO です。free day に二十歳以上のメンバーと金丸先生で TRESTO というバーに行きました。日本では見たことがないような色のお酒や、red horse というビールなど色々なお酒がありました。私は今まで飲み会は怖くて参加したことがなかったのですが、この飲み会は本当に参加してよかったなと思いました。その理由は二つあります。まず一つ目は、フィリピンのお酒を現地で飲むことができたことです。このような経験はなかなかできることはありません。このような機会を作ってくれた金丸先生には感謝してもしきれません。二つ目は、空気感です。そもそも私は、同じ留学プログラムに参加している時点で学生同士の普段の思考回路や空気感が似ているのだろうなと思っていました。この考えは実際正しく、学生同士で話していてこれを痛感することが多くありました。TRESTO での飲み会はこのことを再認識する機会になりました。空気感が似ているためノリが心地よく、本当に楽しく飲むことができました。私は「life is beautiful!!!」と何度も言いながらホテルまで帰っていました。二十歳以上の学生は本当に参加してほしいです。



土曜早朝、UPLB の F park で Zumba (3月2日)

二つ目は bibe です。bibe とはひよこがついたクリップで、これが今フィリピンでとても流行っているそうです。私はそのひよこを買っていつも頭につけていたのですが、みんなが褒めてくれて嬉しかったので、同じ Batch の人と割り勘して全員分のひよこを買ってプレゼントしました。みんなひよこを頭につけて写真を撮っていて、絶対に日本では見られない光景だと思ってほっこりしました。



Villa Escudero でリフレッシュ (3月10日)

三つ目は髪を染めたことです。私は他の学生と三人で free day に髪を染めに行きました。日本円にして三千円で全頭真紫にしました。外国で髪を染めるのは勇気がいることですが本当にいい思い出になるのでおすすめです。美容室では日本との違いを感じる点がいくつかありました。まず髪を染めるとき、普通は服が汚れないようにローブのようなものを被ると思うのですが、数が足りなかったのかなぜか私だけ肩にタオルを置かれただけで染めました。服は汚れなかったので良かったのですが驚きました。また仕上げに髪を洗って乾かしてもらったのですが、なぜかあまり乾かしてもらえず濡れたままの状態です。美容院を出ました。(髪が痛むからみたいなのを言っていた気がします)仕上がりはとてもよかったです満足しましたが、日本で当然だと思っていたことが当然ではなかったことを知り、いい刺激になりました。フィリピンには Ube という紫色の芋があるのですが、私が髪を染めてからフィリピンの方々は「Ube color!!! It suits you!!!」と言って褒めてくださいました。フィリピンの方々には褒める言葉を素直にまっすぐと言ってくれるのでとても嬉しかったです。



Batch16, Maam PATTY の講義 (3月11日)

このプログラムは、今振り返ってみて楽しかったことしか思い出せないくらいにはずっと楽しくて最高の経験でした。私はこの体験記で英語学習についてほとんど触れていませんが、もちろん英語学習に関しても素晴らしく、毎日の授業や facilitator との GI, SG との Night Session など常に英語に触れることができました。ただこの留学で得られるものは英語の上達だけではなく沢山の人のつながりや経験もあるということをおみなさんに伝えたいです。関わってくださった全ての皆さん、本当にありがとうございました。そして参加するか迷っている人はとりあえず参加してみてください!!!